

第142回リニアドライブ技術委員会議事録(案)

日時：平成26年12月12日(金)15:00～17:30

場所：JR東海品川ビルA棟会議室

出席者：委員長 北野(JR東海)

副委員長 水野(信州大)

委員 伊藤(三菱電機), 上田(東芝), 海老原(IEEJフェロー)

白石(安川電機), 森下(工学院大), 長谷川(鉄道総研), 樋口(長崎大)

藤崎(豊田工大), 矢野(近畿大), 脇若(信州大), 渡邊(IEEJプロ)

幹事 村井(JR東海)

幹事補佐 矢島(SMC)(記)

欠席連絡(委任) ~~確認後、追記します~~

(15名)

~~(〇名)~~

提出資料

- 142-1 第141回リニアドライブ技術委員会議事録(案) (矢島幹事補佐)
 142-2 リニアドライブ技術委員会名簿 (矢島幹事補佐)
 142-3 リニアドライブ技術委員会 (北野委員長)
 142-4 平成26年度第3回D部門研究調査運営委員会議事録(案) (北野委員長)
 142-5 リニアドライブ技術関連カレンダー (矢島幹事補佐)
 142-6 平成27年電気学会全国大会シンポジウム(案)提案用紙 (藤崎委員)
 142-7 第27回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム(SEDA27) (樋口委員)
 142-8 第27回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウム準備状況 (樋口委員)
 142-9 LDIA2015 (北野委員長)
 142-10 マグネティックス・リニアドライブ・日本磁気学会 合同研究会 (藤崎委員)
 142-11 MAGLEV2014報告 (北野委員長)
 142-12 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 解散報告書(三次案) (矢島幹事補佐)
 142-13 産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会 設置趣意書(三次案) (矢島幹事補佐)
 142-14 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会(MEL)活動報告 (矢島幹事補佐)
 142-15 第16回 産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 議事録(案) (矢島幹事補佐)
 142-16 2014年12月リニアドライブ・モータドライブ合同研究会開催報告 (長谷川委員)
 142-17 産業応用フォーラム「環境調和型磁気支持応用技術の動向」 (長谷川委員)
 142-18 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会(MLV)活動報告 (長谷川委員)
 142-19 第17回 環境調和型磁気支持応用技術の体系化調査専門委員会 議事録 (長谷川委員)
 142-20 産業応用フォーラム開催のご案内「2030年のアクチュエータはこれだ!新原理と多自由度による革新コア技術の位置付けと展望」 (上田委員)
 142-21 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 解散報告書 (上田委員)
 142-22 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会(MDD)活動報告 (上田委員)
 142-23 第17回 多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 議事録 (上田委員)

議事

1. 議事録確認

第141回委員会の議事録(資料142-1)について、下記を修正のうえ承認された。

- ・3.2内の「北野委員長から、」を削除し、「ベアリングレスモータ(磁気ギア)」→「ベアリングレスモータ・磁気ギア」

2. 報告事項

2.1 次回(第143回)リニアドライブ技術委員会の開催日が2/6から2/20に変更。

2.2 次年度の開催予定は、下記の通り。

4/24, 7/3, 10/2, 12/11, 2016年2/5

2.3 資料142-2を基に、北野委員長から任期満了の委員を交代して3月には新体制にすると説明があった。

2.4 資料142-3を基に、北野委員長から今までのLD技委の開催を確認中と説明があり、海老原委員に確認していただくことになった。

- 2.5 資料 142-4 を基に、北野委員長から 11 月 25 日に開催された第 3 回 D 部門研究調査運営委員会の内容が説明された。
- ・公開シンポジウムが開催される
 - ・技術委員会の委員構成の規定を見直し中（委員は 20 名，正員率は 0.7 以上）
 - ・技術報告が出てこないがあるので清算する
 - ・LD 技術委員会の技術報告の販売部数はそれぞれ 100 部程度。200 部売れば受賞対象となる。
 - ・全国大会で MMA 委のシンポジウムを開催する。
- 2.6 資料 142-5 を基に、リニアドライブ関連カレンダーが確認された。6 月に LD・MAG 合同研究会，8 月に SPC・MD・LD・MAG 合同研究会，12 月に MD・LD 合同研究会を予定。
- 2.7 資料 142-6 を基に、藤崎委員から 3 月 24 日に電気学会全国大会（東京都市大）で開催されるシンポジウム「電磁アクチュエータのための磁性材料とその評価技術」について案内があった。
- 2.8 資料 142-7，資料 142-8 を基に、樋口委員から 5 月 14-15 日に開催される第 27 回「電磁力関連のダイナミクス」シンポジウムの準備状況について説明され，詳細が確認された。3/13 に下見を兼ねて実行委員会を開催する。また企業展示および広告の依頼があった。
- 2.9 資料 142-9 を基に、北野委員長から LDA2014 について説明された。論文募集締め切りを 12/22 まで延期中。先日の状況だとまだ 50 件程度しか集まっていない。
- 2.10 資料 142-10 を基に、藤崎委員から 12 月 18-19 日に豊田工大で開催されるマグネティックス・リニアドライブ・日本磁気学会 合同研究会の案内があった。
- 2.11 資料 142-17 を基に、長谷川委員から 3 月 6 日に鉄道総研で開催される産業応用フォーラム「環境調和型磁気支持応用技術の動向」について案内があった。
- 2.12 資料 142-20 を基に、上田委員から 3 月 5 日に東工大で開催される産業応用フォーラム（パネルディスカッション）「2030 年のアクチュエータはこれだ！新原理と多自由度による革新コア技術の位置付けと展望」について案内があった。

3. 審議事項

- 3.1 資料 142-11 を基に、海老原委員から MAGLEV2014 の報告があった。MAGLEV 運営委員会と LD 技術委員会を兼ねもっている方が海老原委員しかおらず，LD 技委の委員が MAGLEV 運営委員会に入ったほうが良いという意見があった。また，MAGLEV と LDIA を合同でやろうかという意見もあった。
- 3.2 資料 142-12，資料 142-13 を基に，矢島幹事補佐から産業用リニアドライブ技術の応用展開調査専門委員会 解散報告書（案）と産業用リニアドライブの活用技術調査専門委員会 設置趣意書（案）について説明があり，審議された。討議内容を基に修正し，メール審議の後，事務局に提出する。
- 3.3 資料 142-21 を基に，上田委員から多自由度新世代アクチュエータの性能評価調査専門委員会 解散報告書が説明され，審議された。審議内容を基に修正し，事務局に提出する。

4. 各調査専門委員会活動報告

資料 142-14～資料 142-16，資料 142-18～資料 142-19，資料 142-22～資料 142-23 を用いて，各調査専門委員会から活動報告があった。

次回（第 143 回）開催予定：2015 年 2 月 20 日（金）15：00～17：30 JR 東海品川ビル

以上